

平成24年度第1回競技委員会

平成24年6月15・16日(金・土)

愛知県・名古屋市(ルブラ王山)

出席者…釜井、諸江、伊勢、根岸、松本、森、市ヶ谷
中村、谷内、松井

- 部長挨拶(釜井部長)

- H24 全国高等学校総合体育大会(富山・谷内先生)
 - プログラム編成会議 → 平成24年7月6日(金) 9:30～
富山市総合体育館 研修室2-3
現在約半数の申し込みが完了
学校対抗戦では高知県が不参加
シード選手・校の確認 → 村田常任委員へ依頼
 - 実施要項の変更 → 山西常任委員の辞任に伴い、和田常任委員へ変更
 - 練習会場については変更なし
 - 試合会場について
 - 観覧席の通路上部が選手、下部が一般
 - ランニング走路は一般向けに解放予定
 - 観覧席で食事をするのは避ける → 1Fのスポーツ情報サロンで食事
スポーツ情報サロンは物販も入る
 - フェンシングの用具については2Fで実施(2カ所に分かれる)
→ フェンシングの用具については3社で確認済み
 - 会場に十分な広さがあるので10ピストを用いて効率的な試合運営を行って欲しい
 - 台ピストを10台用意
 - 会場図についてはプログラムの原稿ではもう少しすっきりと見やすいものにする
 - 会場図で選手監督の導線についてしっかりと明示し、迷わないようにする
 - 大会期間中においても体育館はフィットネスなど一般開放したままで行う
 - 体育館の会場については8:00を予定(役員については7:30頃)
 - 練習会場のついても8:00会場の予定
 - 審判員の構成については7月10日までに諸江先生より富山県へ連絡
 - ピスト指導員については4名程度を確保する
 - メンバー表の記載の変更 1・2・3・交 → 1・2・3・R
 - 用具検査について
 - 不合格証については裏面にカフの図も載せる
 - マスクについてはフルーレとサーブルは預かり、エペは即返却
 - 用具引換証についてエペのマスクについては即返却なので不要
 - ビブの交換について業者に依頼済み
 - フルーレのマスクのビブについては、脱着式は許可する
 - 資料P27 高体連旗 → 高体連杯
 - 資料P29～31 表彰者の6名を決定し、抽選会前に富山県へ連絡

- 本部宿舎 → オークスカナルパークホテル
- 大型バスについては、体育館には駐車不可。体育館周辺についても同様

- 平成 24 年度全国高等学校選抜大会(長崎)
 - 建設中の新体育館 → 使用が可能となった

- 平成 25 年度全国高等学校総合体育大会(大分県・中村先生)
 - 本年 4 月より会場地には漆間先生が配置
 - 大分県日田市で開催
 - 諸会議の日程(プログラム編成会議及び大会期間中)
 - 大分県では 8 競技を開催
 - 補助員は日田市の高校生を予定
 - 宿舎は日田市内で配宿予定
 - 練習会場は 3カ所で実施予定

- 平成 25 年度全国高等学校選抜大会(秋田県・松井先生)
 - 大会期間 平成 26 年 3 月 21 日～ 23 日(金～日)
 - 会場地は未定(秋田市立体育館で調整中→ 8 月に回答あり。×の場合は美郷町へ依頼)

- 選抜大会における競技について(長崎大会より)

規約規定集の改訂

[4]

- (1) 団体戦で → 学校対抗戦で
- (4)④ その試合(団体) → その試合(学校対抗)
- (5)② その試合(団体) → その試合(学校対抗)
- (7)① 団体戦では → 学校対抗戦では

[5] (全面改定)

- (1) 1 チーム 5 名編成で、3 名の選手によるリレー方式とする。
- (2) 男女とも 45 本勝負で試合時間は、予選プールは 2 分間、トーナメントは 3 分間(実働)とする。各対戦での試合順序は次のとおりとする。
3-6 1-5 2-4 1-6 3-4 2-5 1-4 2-6 3-5 ☆
- (3) 予選プール
 - ① プール方式(4 校によるリレー方式による総当たり戦)で行い、9 試合目で 45 本を先取した方、または、9 試合目が終了した時点で得点の多い方が勝ちとする。
 - ② 各プールの試合順序
1-4 2-3 1-3 2-4 1-2 3-4 ☆
 - ③ 各プールより上位 2 校、合計 16 校がトーナメントに進出できる。
 - ④ プールの順位は次のとおりとする。☆

- ア. チーム勝数 $(V \cdot E) \div$ チーム試合数 $(M \cdot E)$ の指数の高いチーム
- イ. 個人総突数 $(TD \cdot I) \div$ 個人総被突数 $(TR \cdot I)$ の指数の高いチーム。
- ウ. 個人総突数 $(TD \cdot I) \div$ 個人総試合数 $(V \cdot I)$ の指数の高いチーム。
- オ. 上記すべてが同じ場合は、代表者 1 名により 5 本勝負の決定戦を行う。
ただし、トーナメントの進出に必要な時のみ行うものとする。

- ⑤ 何らかの理由で選手が 2 名になった場合は、そのチームを棄権とし最初から出場していなかったものとする。

(4) トーナメント

- ① 各対戦は、9 試合目で 45 本を先取した方、または、9 試合目が終了した時点で得点の多い方が勝ちとする。

- ② トーナメントのシードについて

- I. 予選プールの成績により次の順序でシード番号を付ける。☆

- ア. チーム勝数 $(V \cdot E) \div$ チーム試合数 $(M \cdot E)$ の指数の高いチーム。
- イ. 個人総突数 $(TD \cdot I) \div$ 個人総被突数 $(TR \cdot I)$ の指数の高いチーム。
- ウ. 個人総突数 $(TD \cdot I) \div$ 個人総試合数 $(M \cdot I)$ の指数の高いチーム。
- エ. ア～エが同じ場合は技術委員会において抽選で決める。

- II. 1～16 までのシード番号による 16 チームを技術委員会はトーナメント表にシードする。